

牧之原市長 杉本 基久雄 様

要 望 書

令和7年12月

牧之原市議会

令和7年9月5日の台風15号によって、市内で発生した竜巻等災害については、市職員をはじめ、各関係機関や県内外からのボランティアの皆さんのご支援により復旧・復興に向けた取り組みを進めていただいていることに対して、心から感謝申し上げるところであります。

市議会としましては、復旧・復興に向け、市と協力し取り組む所存であります。

復旧・復興に向けては、被災された皆さんに寄り添った支援がこれまで以上に必要ですので、次の事項について強く要望します。

1 地域防災力の強化への支援について

災害時においては、共助（地域防災力）が非常に重要となる。市内自主防災会においては、先進的且つ積極的に防災訓練等に取り組んでいる組織もある。

このような事例を広く情報共有することで、市内全域の防災力が向上するよう自主防災組織への支援を行うこと。

2 市民が相談しやすい環境づくりについて

12月15日に開設した、「牧之原市ささえあいセンター」は、市民からの相談窓口の中心となるが、その運営方法など、被災された方にとって、安心して相談できる環境整備を行うこと。

3 フェーズ（段階や局面）にあわせた情報発信について

災害発生時から復興に向けて、常にフェーズは変わっていく。その時々にあわせた情報が、迅速且つ正確に市民に届くよう、様々な情報提供方法を検討すること。

4 竜巻災害の検証について

今回の竜巻災害は、これまでに経験したことがない災害であった。発災から復興へ記録と検証を行い、今後発生する災害への備え及び教訓とすること。

令和7年12月19日

牧之原市議会議長 原口 康之